

キャリアチャレンジ発表会

生活クラブ生活協同組合
埼玉

遠藤行浩 守屋瑞穂 柴田葵



1. 配達業務

配達業務の流れ

- ①朝礼
- ②始業点検、トラックへの積み込み
- ③配達
- ④片づけ、残務処理
- ⑤夕礼

①朝礼

- 当日の配達に関する業務連絡事項の確認
ex,消費材の欠品について
- 安全運転スローガン唱和

②始業点検、トラックへの積み込み

- 配達で使用するトラックの運行前点検
 - ライトやワイパーの動き、タイヤの空気圧、傷の確認など
- 配達する消費材をトラックへ積み込む
 - 積み方に決まりはなく、人それぞれ異なる

②始業点検、トラックへの積み込み



コンテナにいっぱいの卵



積み込むトラック

②始業点検、トラックへの積み込み



←大宮

所沢→



③配達

- ・ルート配送

担当エリアを決まった順番で時間内に配達

1ルート約60か所

「C Navi」の利用(大宮センターのみ、試験中)

→配送先や特記事項、注文書の有無の確認

③配達

- ・消費材の配達

1. 車上ピックアップ

個人、グループ別の配達明細を確認し配達

2. 配達

在宅組合員→消費材を直接手渡し

不在組合員→事前のルールに沿って荷置き

③配達

- ・配達について

荷置きするときのルールもある

ex, 要冷品を上にする、最上箱の蓋をテープ貼り

埼玉では発泡保冷ケースと保冷材は事務局が用意

注文書での注文が最も多いため、取り忘れに注意

組合員とのコミュニケーションが重要

④片づけ、残務処理

- 配達後のトラックの片づけ
- 回収した注文書のチェック、回収状況の確認
- 配達先で受けた依頼等への対応
- 翌日の配達準備
- コースマネージャーニュース作成 etc.

⑤夕礼

- 1日の業務報告
- 安全運転報告
- 翌日を含めた業務に関する連絡事項の共有

2. 食育サポーター

食育講座

- ・目的

「食べ物選びの大切さ」「食べ物の子供の体へ影響を
子供たち、またその保護者に知ってもらう

また生活クラブの消費材を多くの人に知ってもらう

食育講座

- ・実際に受けた内容
「だしの違いについて」
「牛乳の違いについて」

中には自分で料理のレシピを考えている食育サポーターの方もいました。

☆ ワークシート ☆ 2018.2.14

だしを食べてみよう

なまえ _____

① こんぶ・にぼし・かつおぶしは、どこでとれるかな？

② かがくちょうみりょうって、しぜんなたべものですか？

③ みんなの体は からだ なにからできているの？

④ した舌でかんじる味 あじ(あまい・すっぱいなど) のことをなんというのかな？

⑤ だしを つかって使ってつくるおみそしるの、あいことばは何でしょう
○○○にポン！

⑥ あした明日からやってみたいこと、きょう今日の感想 なん何でも書いてね！

ありがとうございました！生活クラブ食育サポーター😊

3. メゾンについて

くらぶメゾン志木



地域コミュニティの場




メゾンまとめ

メゾンには様々な機能がある!!

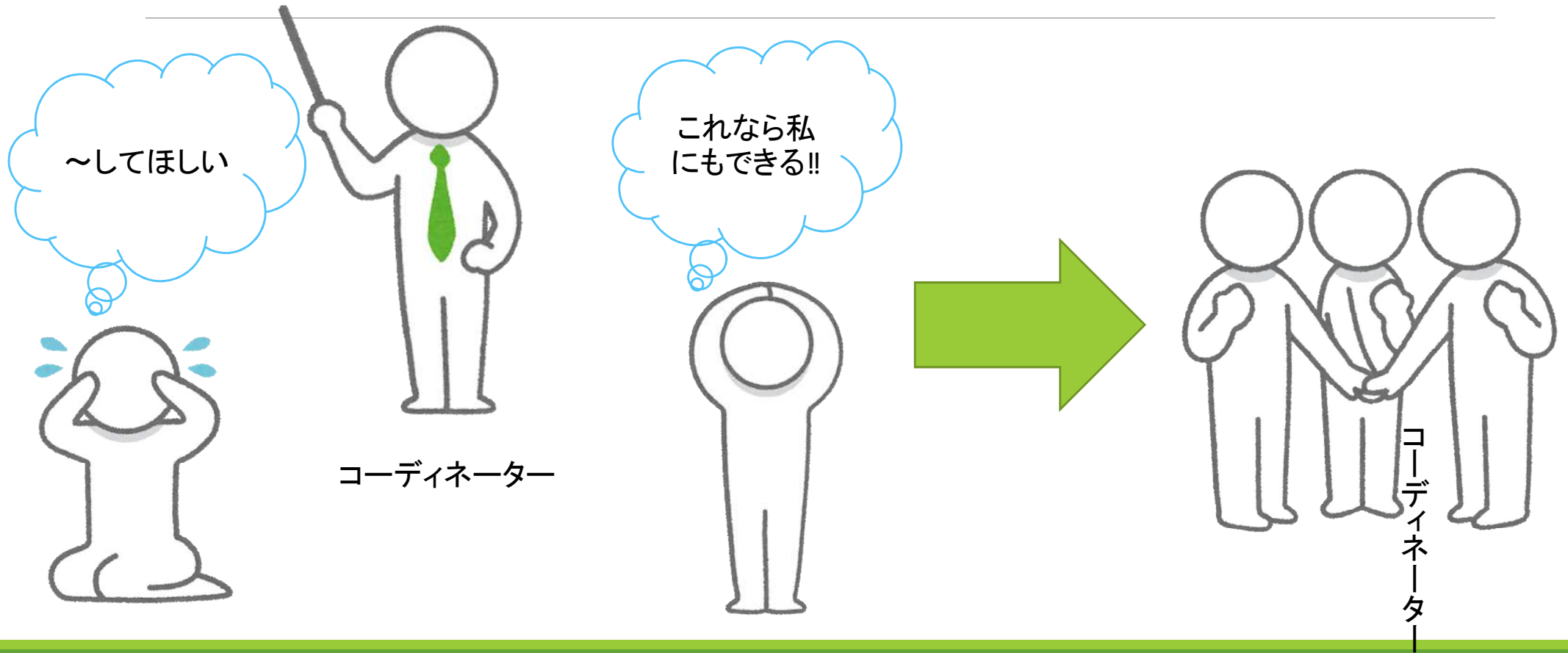


4. エッコロ制度

エッコロ制度

1. 協同購入活動保障
 2. 組合員活動保障
 3. 生活保障
- 

できるリスト



地域の豊かさ＝組合員の豊かさ




エコロ制度は...

共済制度

+

地域福祉・助け合い



5. 三富ファーム

5. 1. 三富ファームの概要

- ・活動地域は三芳町上富、所沢市中富、所沢市下富(約1600ha)の市街化調整地域
- ・区内人口は11,592人(H24.12月現在)
- ・緑地面積は約250ha
- ・東京都心から約30kmと、都心からも近距離

5. 2. 設立背景①

- ・石油製品および化学農薬の普及により、薪・落ち葉堆肥の利用の減少
 - ・農家の高齢化、後継者不足
 - ・相続税の重荷
- +
- ・1992年2月、**所沢ダイオキシン事件**発生

都市農業は農家だけでは守れない！！

5. 2. 設立背景②

- ・2015年4月、農家5人・生活クラブ・地域市民が立ち上がり、農業法人三富ライフファーム株式会社を設立
- ・遊び仕事で三富江戸農法*を次世代へとつなぐ
- ・テーマは、遊び仕事で人と人をつなぐ

* : 落ち葉を堆肥に、薪を燃料に使う江戸古来の農法

5. 3. 遊び仕事とは

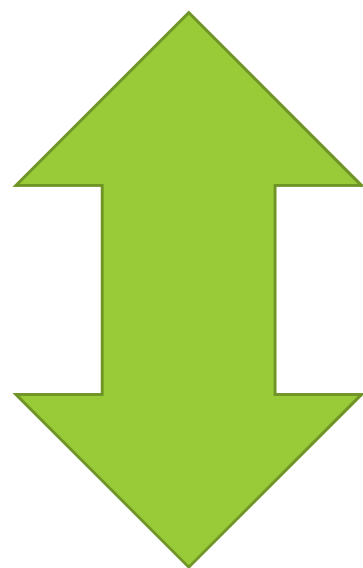
- 食と農をつなぐ遊び仕事
→ 薪でのピザ焼き、野菜いっぱい三富スープ
- 子供たちの遊び仕事
→ 超非日常的な農業体験、堆肥上でのカブトムシ探し
- 大人たちの遊び仕事
→ スポーツカーのような草刈機、親子やシニア夫婦が多い農業塾

5. 4. 事業内容

- ・大豆栽培→新豆で作る所沢生まれ「世界一どうふ」
- ・加工用トマト栽培→生活クラブ生協へ配給、ケチャップ作り
- ・落花生栽培→生活クラブ生協へ配給、オイルサーデインの原料
- ・里芋栽培→生活クラブ生協へ配給、「里芋どら焼き」原料へコラボ
- ・大根栽培→社会福祉法人の漬物製造の原料
- ・小麦栽培→うどん・ピザ・パン生地原料

* : 下線部分は目指していること、目指したいこと

市民が農に触れながら作業参加



雑木林の再生、維持活動にも参加

5. 5. 新たな課題

- ①2020年の東京オリンピックが近いこともあり、近年再開発のラッシュにより、あちこちで雑木林の買い占めが始まっていること
- ②これまで近隣で落ち葉は気を実施した林も、いつの間にか売却され、雑木林が喪失し始めていること
- ③地域で落ち葉は気の活動を地道に行ってきたNPO法人などのグループが、高齢化や参加人数の減少により、活動回数や範囲が縮小してきていること

5. 6. 今後目指すべき方向性

- 地域との連携強化
- 農福(林福)連携の追及
- プロではない、より多くの市民参加
- 協働作業
- 「生産」と「消費」の垣根を超えて

5. 7. 農業体験

- ・落ち葉はき(苗木づくり)、たい肥作り、畑づくり、灰作りを体験



←薪割体験をする遠藤君

三富ライフファームにて→





6. まとめ

6. まとめ

- ・生活クラブ埼玉では、メゾンや三富ライフファームなど、独自の活動を行っている
- ・グループ会議では代表の組合員が積極的に発言をしており、生活クラブは組合員によって成り立っている印象であった

ご清聴ありがとうございました
